

4 まなび・子育て環境創造プロジェクト

「ダイナミックやまなし総合計画」 政策別実施状況

プロジェクト	4	まなび・子育て環境創造プロジェクト
--------	---	-------------------

政策	1	安心して子どもを産み育てられる社会づくり	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	23	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>若い世代が将来に希望を持てる社会を構築するためには、妊娠・出産、子育てへの不安を解消する必要があります。</p> <p>このため、地域社会全体が子どもと子育てを見守り支援する「子育て協働社会」の構築や、妊娠・出産・子育てに関する負担の軽減に取り組みます。</p>					
平成27年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 地域における子育て支援の促進		P.62	福祉保健部・教育委員会	
	○ 若年者・母親等への就労支援		P.65	産業労働部	
	○ 産前産後の母親の不安や悩みの軽減		P.66	福祉保健部	
	○ 放課後の子どもの居場所づくりの促進		P.67	福祉保健部・教育委員会	
	○ 多様な保育ニーズへの対応の促進		P.67	福祉保健部	
	○ こころの発達総合支援センターの機能強化		P.68	福祉保健部	
	○ 青少年を有害サイトやネット依存から守る取り組み		P.69	警察本部	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		1,076 百万円		
	前年度までの事業費		－ 百万円		
	本年度の事業費		1,076 百万円		
成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	地域子育て支援拠点施設の設置箇所数(総計)	65 箇所 (H26)	74 箇所 (H31)	68 箇所 (H27)	33.3
	保育所等の待機児童数	0 人 (H26)	0 人 (H31)	0 人 (H27)	達成
	病児保育の実施箇所数(総計)	26 箇所 (H26)	35 箇所 (H31)	29 箇所 (H27)	33.3
	放課後児童クラブの設置箇所数(総計)	217 箇所 (H26)	258 箇所 (H31)	239 箇所 (H27)	53.7
	子育てを支援する企業の数(総計)	277 社 (H26)	352 社 (H31)	222 社 (H27)	△ 73.3
	育児休業取得率	女性 89.4% 男性 1.6% (H24)	女性 90.0% 男性 10.0% (H30)	女性 96.7% 男性 4.0% (H27)	女性 1216.7 男性 28.6
	女性(25歳～44歳)の有業率	73.75% (H24)	76.75% (H29)	73.75% (H24)	－

※下線の成果指標は「山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも記載

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 子育て環境に関する支援策の検討・実施 【子育て支援課】	児童福祉総務費 (5,700) 3,780	<p>安心して子どもを産み育てることのできる社会の実現に向けて、子育てしやすい環境づくりを進めていくため、全県的な子育て環境に関する調査を実施し、支援策を検討した。</p> <p>これにより、新たな支援策を事業化し、子育てしやすい環境づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境に関する実態調査の実施 ・やまなし子育て応援事業の実施
② 地域における子育て支援の促進 【子育て支援課】 【社会教育課】	児童福祉総務費 (292,560) 253,248 社会教育振興費 (311) 295	<p>安心して子どもを産み育てることのできる環境を整え、「子育て協働社会」を構築するため、子育て支援に取り組む市町村を支援するとともに、「子育て支援隊」を結成して既存の団体・個人による活動の輪を広げ、県民全体で子育て支援を行う気運を醸成した。また、子育て支援者の養成及び資質向上を図った。</p> <p>これにより、子育て支援者の育成とネットワークの構築が進み、子育てしやすい環境づくりに寄与した。</p> <p>【地域子育て支援拠点等の設置促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点の設置 68 箇所 ・ファミリー・サポート・センターの設置 17 箇所 <p>【「子育て支援隊」の結成及び推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援隊キャンペーンの実施 平成 27 年 7 月 ・県広報テレビ番組による子育て支援隊の活動状況の広報・啓発 平成 27 年 9 月 ・地域の中核的な人材の育成に向けた活動事例報告会の開催 平成 27 年 8 月 <p>【子育て支援のネットワークの強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援団体向け研修会等の開催 2 回 ・子育て支援団体等による普及啓発活動の実施 <p>【子育て支援者の資質向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援リーダー・ステップアップ講座の開催 10 回

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
③ 子育てに関する情報提供及び相談 【子育て支援課】 【社会教育課】	児童福祉総務費 (3,000) 2,997 社会教育振興費 (17,909) 17,790	<p>子育ての不安や悩みを解消し、安心して子育てができるようにするため、子育てに関する教材や便利帳を作成するとともに、幼児教育番組を放映した。また、子育て相談総合窓口「かるがも」を運用するとともに、子育て相談関係機関との連携を図った。</p> <p>これにより、必要な情報を提供し、子育て中の家庭の不安感及び負担感の軽減を図り、安心して子育てができる環境の整備に寄与した。</p> <p>【子育て相談総合窓口の運用・連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談総合窓口による相談件数 1,349 件 ・子育て・青少年相談関係機関連絡会議の開催 平成 27 年 10 月 <p>【子育てに関する情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワクワク子育て親育ち」教材の作成・配布 1,828 冊 ・「ワクワク子育て親育ち」教材を活用した講座の講師を養成するプロジェクトの実施 6 回 修了生 30 人 ・幼児教育放送「子育て日記」の放映 24 回 ・やまなし子育てべんり帳の作成 30,000 部
④ ワーク・ライフ・バランスの推進 【労政雇用課】	労働福祉費 (4,666) 1,843	<p>企業における働きやすい職場環境づくりを促進し、ワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、経営者の意識改革に資する取り組みや、仕事と子育ての両立を図る事業主の行動計画策定、育児休業制度などの子育て支援制度の導入などに対して支援した。</p> <p>これにより経営者の意識改革や一般事業主行動計画の策定につながるなどワーク・ライフ・バランスの推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業トップセミナーの開催 平成 27 年 11 月 参加者 52 人 ・一般事業主行動計画の策定支援 訪問 29 社 ・専門家派遣による企業の取り組みへの支援 3 社 ・中小企業子育て支援奨励金の支給 3 社

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果						
⑤ 子育てしやすい職場環境づくりへの支援 【県民生活・男女参画課】	男女共同参画費 (2,903) 870 [1,901]	<p>ワーク・ライフ・バランスに配慮した企業等の取り組みを促進するため、企業の子宝率（合計特殊出生率）の調査による優良事例の情報発信や仕事と子育て等の両立に積極的に取り組む企業等の表彰を行うとともに、子育てに関する企業研修への講師派遣などを実施した。</p> <p>これにより、県民や企業等に対して、ワーク・ライフ・バランスの意義、必要性等についての周知が図られ、子育てしやすい職場環境づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし子宝率調査の実施 モデル企業事例紹介パンフレットの作成、配布 ・男女共同参画推進事業者等の表彰 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>県民表彰</td> <td style="text-align: right;">4人</td> </tr> <tr> <td>事業者表彰</td> <td style="text-align: right;">4事業所</td> </tr> </table> ・企業研修会等への講師派遣 5団体 	県民表彰	4人	事業者表彰	4事業所		
県民表彰	4人							
事業者表彰	4事業所							
⑥ 女性の活躍支援 【県民生活・男女参画課】	男女共同参画費 (4,094) 1,309 [2,748]	<p>職場における女性の登用や、女性が働きやすい職場環境づくりを促進するため、企業や団体等と連携して働く女性を対象とした能力開発研修や意見交換会等を実施した。</p> <p>これにより、女性職員の能力開発と女性リーダーとして活躍できる人材の育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く女性のための能力開発研修 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>講演会の開催</td> <td>平成27年8月</td> <td>参加者 78人</td> </tr> <tr> <td>研修・意見交換会の開催</td> <td></td> <td>2回</td> </tr> </table> 女性活躍取組宣言事例集の作成、配布 	講演会の開催	平成27年8月	参加者 78人	研修・意見交換会の開催		2回
講演会の開催	平成27年8月	参加者 78人						
研修・意見交換会の開催		2回						
⑦ 父親の子育て参加への支援 【社会教育課】	社会教育振興費 (1,302) 1,281	<p>家庭における父親の役割の重要性や家族との関わりについて理解を深めるため、「父親」をテーマとしてフォーラムや講演・ワークショップ等を開催し、父親の子育て参加を推進した。</p> <p>これにより、男性の育児及び地域活動への積極的な参画を推進し、社会全体で子育てをしようとする機運の醸成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父親を考えるフォーラムの開催 8回 ・企業におけるお父さん応援出張講座の実施 6社 						

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑧ 若年者・母親等への就労支援 【労政雇用課】 【産業人材育成課】	雇用対策費 (41,315) 39,457 職業能力開発校費 (3,471) 2,699	若年者・子育て中の母親等の就労を支援するため、カウンセリングやセミナー、子育て相談、職業紹介等を行うとともに、結婚・出産・子育て等のために退職した女性の再就職を支援するため、ニーズに応じた職業訓練等を実施した。 これにより、若年者や子育て中の母親等の就労に寄与した。 ・「ジョブカフェやまなし」(若年者の就労支援)の運営 相談件数 1,323 件 ・「子育て就労支援センター」(子育て中の母親等の就労支援)の運営 相談件数 651 件 ・やまなし・しごと・プラザサテライトの開設準備 ・女性の再就職を支援するための職業訓練(パソコン、ビジネスマナー等)の実施 修了者 12 人(うち就職者 10 人)
⑨ ひとり親家庭等への支援 【子育て支援課】	母子福祉費 (30,081) 27,995	ひとり親家庭等の親の就業や子どもの養育を支援するため、母子・父子自立支援員が様々な相談に応じるとともに、一時的に保育ができない家庭に生活支援員を派遣した。また、就業する意欲を持ったひとり親家庭等の経済的自立を図るため、資格取得のための養成機関での修業を支援した。 これにより、ひとり親家庭等の自立や生活の安定に寄与した。 ・母子・父子自立支援員による相談件数 1,352 件 ・家庭生活支援員の派遣 312 時間 ・高等職業訓練促進給付金 5 人 ・高等職業訓練終了給付金 2 人 ・国家資格等取得応援給付金 6 人
10 子どもの貧困対策に資する取り組みの推進 【社会教育課】	———	貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進するための計画を策定した。 ・やまなし子どもの貧困対策推進計画の策定 平成 28 年 3 月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑪ 子宮頸がん検診の受診率の向上 【健康増進課】	成人病対策費 (2,876) 2,876	<p>子宮頸がん検診の受診率を向上させ、将来の健やかな妊娠・出産を可能とするため、大学生を対象とした子宮頸がんに関する講習会や無料検診などを実施した。</p> <p>これにより、子宮頸がん検診に対する意識の向上及び子宮頸がんの早期発見の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がんに関する講習会の開催 2回 ・無料子宮頸がん検診の実施 2回 ・子宮頸がん検診に関する啓発
⑫ 産前産後の母親の不安や悩みの軽減 【健康増進課】	公衆衛生総務費 (9,764) 3,149	<p>産前産後の母親の不安や悩みを軽減するため、産前産後ケアセンターが実施するレスパイト型産後ケア(宿泊しながら母親の心身の回復と育児技術指導を提供)へ支援するとともに、24時間対応の電話相談窓口を設置した。</p> <p>これにより、安心して子どもを産み育てられる社会づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア事業の開始 平成 28 年 2 月 ・産前産後ケアセンター利用費の支援 16 組 延べ 37 泊 ・産前産後電話相談窓口の設置 平成 28 年 1 月 ・産前産後電話相談の実施 205 件
⑬ 不妊治療に対する支援の推進 【健康増進課】	公衆衛生総務費 (148,750) 139,717	<p>不妊・不育に悩む人の出産の希望を実現できるようにするために、高額な治療費を要する体外受精以外に妊娠が望めないと主治医が判断した夫婦を対象とした特定不妊治療、男性不妊治療について支援した。</p> <p>これにより、子どもを望む多くの夫婦の治療に関する経済的負担の軽減及び妊娠の実現に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療費助成による支援 延べ 989 件 助成を受けた夫婦の妊娠率 約 43% ・男性不妊治療助成による支援 1 件
⑭ 先天性代謝異常等検査の推進 【健康増進課】	公衆衛生総務費 (22,320) 22,320	<p>稀少疾患である先天代謝異常等は、早期発見・治療により重篤化を予防することができるため、先天性代謝異常検査の実施により、新生児の健全な発達を促し、養育者負担の軽減を図った。</p> <p>これにより、早期発見治療が可能となり、患児の健全な発育発達と養育者の負担軽減に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先天代謝異常等検査の実施 6,436 件

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑮ 放課後の子ども居場所づくりの促進 【子育て支援課】 【社会教育課】	児童福祉総務費 (233,186) 206,384 社会教育振興費 (25,280) 21,986	<p>保護者が昼間家庭にいない小学生に対して、放課後に児童館・公民館、小学校の余裕教室等を利用して過ごせる放課後児童クラブの設置を促進した。また、地域住民とともに子どもたちが様々な活動を行う放課後子供教室との連携、一体化を促進した。</p> <p>これにより、放課後子供教室の拡大と充実、放課後児童クラブとの一体的な運用が図られ、働きながら子育てしやすい環境づくりと子どもたちの安全で健やかな居場所づくりの推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの設置 239 箇所 ・小規模放課後児童クラブの職員適正配置 10 箇所 ・放課後子供教室への運営支援 15 市町村 54 教室 ・放課後子ども総合プラン推進委員会の開催 3 回 ・放課後子ども総合プラン指導者研修会の開催 5 回
⑯ 多様な保育ニーズへの対応の促進 【子育て支援課】	児童福祉総務費 (288,905) 249,525	<p>保護者の就労形態等に応じた様々な保育ニーズに柔軟に対応し、安心して子育てしやすい環境を整えるため、延長保育、病児保育等のきめ細かな保育の充実に取り組む市町村を支援した。</p> <p>これにより、働きながら子育てしやすい環境づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育対応可能な保育所等の設置 214 箇所 ・病児保育の実施 29 箇所
17 児童虐待の防止と早期対応の推進 【子育て支援課】	児童福祉総務費 (33,579) 32,056	<p>児童虐待の防止と、虐待が深刻化する前の早期発見・早期対応や子どもの保護、家族を含めた支援のため、県民への意識啓発を図るとともに、児童相談所の体制整備を推進した。</p> <p>これにより、児童虐待の防止と早期対応に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビCMの放映 99 回 ・児童虐待対応協力員（非常勤）の配置 2 人 ・児童精神科医等（非常勤）の配置 2 人 ・一時保護所心理職員（非常勤）の配置 2 人 ・家族統合の通所訓練 48 ケース（うち目標達成 10） ・困難事例対応のため弁護士の相談活用 47 ケース ・困難事例対応協力員（警察OB非常勤）の配置 1 人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
18 こころの発達 総合支援セン ターの機能強 化 【子育て支援課】 【障害福祉課】 【医 務 課】	児童福祉施設費 (9,468) 7,197 社会福祉総務費 (9,462) 7,821 精神保健費 (8,207) 7,539	児童虐待や発達障害者等のこころの問題に対応する ため、診療、相談や療育の支援を総合的に担う「こ ころの発達総合支援センター」の機能強化を図った。 これにより、こころの問題を抱えた子どもや発達障 害者等の支援の充実に寄与した。 ・相談件数 3,861 件 ・診療件数 2,105 件 ・発達障害に関する研修の実施 13 回 ・子どもの心の診療関係者研修の実施 5 回 ・普及啓発・情報提供の実施 2 回
19 施設入所児童 等の自立支援 【子育て支援課】	児童福祉総務費 (677) 353	児童養護施設入所児童等が円滑に自立するため、退 所後の住居や職場を訪問して助言・指導を行うなど、 退所児童等のアフターケアに取り組んだ。 これにより、施設入所児童等の自立に寄与した。 ・児童入所施設退所児童への指導 28 人 ・身元保証確保対策の実施 就職時の身元保証 5 人 住宅等賃借時の連帯保証 4 人
20 家庭的養護の 推進 【子育て支援課】	児童福祉総務費 (4,092) 3,571	社会的養護が必要な子どもをできる限り家庭的な環 境で養育できるよう里親等への委託を推進した。 これにより、家庭的な養育環境の充実に寄与した。 ・里親等委託児童 87 人 ・里親体験事業利用児童 22 人 ・里親認定 新規 12 世帯

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
㉑ 社会全体で若者の結婚を応援する気運の醸成や連携の構築 【県民生活・男女参画課】	住みよい地域づくり推進費 (18,265) 12,872	<p>若者が希望を持って結婚に踏み出せるよう出会いの機会を提供するとともに、県民や企業、市町村、各種団体が連携し、社会全体で若者の結婚を応援する気運を醸成した。</p> <p>これにより、若者の結婚を後押しする環境づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やまなし出会いサポートセンター」の運営 登録会員 836人 ・専用サイトやメールマガジンによる婚活イベント情報の発信 メールマガジン登録者 938人 ・若者の結婚応援事業の実施 若者応援フォーラムの開催 平成27年11月 参加者40人 結婚支援セミナーの開催 4回 縁結びサポーター交流会の開催 2回
22 青少年の健全な育成の推進 【社会教育課】	青少年総合対策費 (5,046) 4,902	<p>地域・家庭・企業等の連携による県民総参加の青少年健全育成を推進するために、「青少年保護育成のための環境浄化に関する条例」に基づき、青少年の健全育成に総合的に取り組んだ。</p> <p>これにより、地域・家庭・企業等が一体となって、青少年の健全育成に取り組む体制が整備され、県民の意識啓発に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成市町村民会議と連携したあいさつ啓発活動の実施 9回 ・青少年社会環境健全化推進会議の開催 平成27年7月 ・青少年社会環境健全化推進キャンペーンの実施 2回
23 青少年を有害サイトやネット依存から守る取り組み 【警：生活安全捜査課】	———	<p>ソーシャルネットワークサービスのアプリやコミュニティサイトに起因する犯罪被害等から生徒を守るため、携帯電話所持率が上昇する中学生とその保護者に対し、インターネットの危険性や正しい利用方法を指導し、セキュリティ対策の強化、予防対策の周知を図った。</p> <p>これにより、青少年を被害者とする犯罪等の防止に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校、高校及び保護者等に対するインターネット防犯講話の実施 87回

「ダイナミックやまなし総合計画」 政策別実施状況

プロジェクト	4	まなび・子育て環境創造プロジェクト
--------	---	-------------------

政策	2	個性と学力を伸ばす教育の充実	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	17	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 本県が人口減少やグローバル社会の進行などの大きな変化に対応していくためには、地域社会の中で絆を保ちながら、それぞれの個性を生かして自立し、率先して行動できる人材を育成する必要があります。 このため、家庭・地域・学校が連携し、子どもたちの夢や希望の実現に向けた実践的な学習を推進するとともに、安全で安心して学ぶことができる教育環境づくりに取り組めます。</p>					
平成27年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 知事と教育委員会の連携による教育行政の推進		P.72	県民生活部	
	○ 少人数教育の充実		P.73	教育委員会	
	○ 学力向上に関する取り組みの推進		P.73	教育委員会	
	○ いじめ・不登校対策等の推進		P.74	教育委員会	
	○ グローバル人材の育成		P.76	教育委員会・ 県民生活部	
	○ 特別支援学校における教育環境の整備の推進		P.77	教育委員会	
	○ 高等学校等の就学支援		P.78	教育委員会・ 県民生活部	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		8,770 百万円		
	前年度までの事業費		－ 百万円		
	本年度の事業費		8,770 百万円		
成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との比較割合(小中学校)	99.3% (H26)	100.0%超 (H31)	99.0% (H27)	△ 42.9
	工業系高校2・3年生の技能検定等国家資格取得の延べ人数割合	69.0% (H26)	74.0% (H31)	76.4% (H27)	148.0
	公立小中学校で認知したいじめの解消率	97.1% (H25)	100.0% (H30)	97.9% (H26)	27.6

※下線の成果指標は「山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも記載

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 知事と教育委員会の連携による教育行政の推進</p> <p>【私学・科学振興課】</p>	<p>————</p>	<p>知事と教育委員会が、十分な意思疎通を図り、本県の教育についての課題やあるべき姿を共有し、連携して山梨の教育行政に取り組んだ。</p> <p>これにより、知事と教育委員会の連携による教育行政の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議の開催 3回 ・やまなし教育大綱の策定 平成28年2月
<p>② 保護者・教師・住民が一体となった学校運営</p> <p>【義務教育課】 【社会教育課】</p>	<p>教育指導費 (2,227) 1,097</p>	<p>子どもたちの個性と創造力を育む新たな学校づくりに向け、保護者や地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会の設置を推進するとともに、学校活動を支援する学校応援団の活動の充実に取り組んだ。</p> <p>これにより、保護者・教師・住民が一体となった学校運営の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の設置 3校 ・学校運営協議会設置推進委員会の開催 3回 ・学校応援団の活動への支援 27市町村 ・学校応援団地域コーディネーター研修会の開催 平成27年11月 参加者240名
<p>③ 魅力と活力ある高校づくりの推進と中高一貫教育の導入</p> <p>【新しい学校づくり推進室】</p>	<p>————</p>	<p>子どもや保護者が将来に夢を持つことができる高校教育を実現するため、学校再編や定員策定など、魅力と活力ある高校づくりを推進するとともに、特色ある中等教育創造のため、連携型中高一貫教育の導入に向けて取り組んだ。</p> <p>これにより、生徒の興味、関心、進路希望など幅広いニーズに対応した高校の教育環境の充実に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・峡南地域の県立高校再編整備の検討 地域説明会の開催 5回 ・学科の改編、定員の策定 学科改編、コース改編等 3校 公立高校定員 260名削減 ・連携型中高一貫教育の導入 身延高校と身延中学校・南部中学校の連携を推進するための検討委員会の開催 3回

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>④ 少人数教育の 充実</p> <p>【教：総務課】</p>	<p>教職員費 (項：小学校費) (1,025,658) 1,025,658</p> <p>教職員費 (項：中学校費) (762,572) 762,572</p>	<p>児童生徒の発達段階に応じたきめ細かな指導を行うため、小学校1、2年生は30人学級、小学校3年生から中学校3年生までは35人学級とする本県独自の少人数学級編制を継続して実施するとともに、チームティーチング等の少人数指導のあり方を検討し、少人数教育の充実を図った。</p> <p>これにより、学力向上や学校現場の抱える諸課題への対応の充実に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級編制に応じた教職員の配置 小学校 延べ171校 171人 中学校 延べ82校 142人 ・チームティーチング等少人数指導に係る教職員配置の検討
<p>⑤ 学力向上に関する取り組みの推進</p> <p>【義務教育課】 【高校教育課】</p>	<p>教育指導費 (30,748) 29,244</p>	<p>児童生徒の学力向上を図るため、教員の授業力を高める取り組みや、家庭学習の確保及び地域連携の推進に努めた。</p> <p>これにより、授業改善の推進、教員の資質向上、児童生徒の学力の定着・向上に寄与した。</p> <p>【児童生徒の補修的な学習支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施地域 5市町 <p>【若手教員の実践的指導力を高めるための支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員への授業技術及び学級経営等に関する指導の実施 160校 319名 ・情報交換を目的とした退職教員等による連絡協議会の開催 3回 <p>【授業改善プランの実践推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小3・小5・中2への県独自の学力調査の実施 平成27年5月 ・県独自の学力調査の分析結果を基にした授業改善案作成・公表 平成27年7月 ・授業改善推進校による公開授業の実施 16校 52回 ・学力向上フォーラムの開催 2回 <p>【高校における指導・評価の改善の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に向けた訪問指導 315回 ・授業改善に向けた実践事例集の作成 <p>【家庭学習及び地域連携の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上の集いの開催 5地区

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑥ いじめ・不登校対策等の推進 【教：総務課】 【義務教育課】 【高校教育課】	教育センター費 (16,752) 15,866 教育指導費 (151,685) 147,515	<p>いじめ・不登校対策等に積極的に取り組むため、面接相談や電話相談を実施して問題の早期発見、早期対応に努めるとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用により児童生徒の健全育成を支援した。</p> <p>これにより、児童生徒、保護者及び教職員の不安や悩みの軽減・解消、課題解決に寄与した。</p> <p>【教育相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育センターによる面接相談 536 件 うち、いじめ・不登校が主な相談 345 件 ・電話相談「いじめ・不登校ホットライン」 2,006 件 うち、いじめ・不登校が主な相談 444 件 <p>【スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの配置 小中学校 145 校 高校 6 校 ・スクールカウンセラーによる訪問 小中学校 147 回 高校 171 回 ・スクールソーシャルワーカーの配置 小中学校 11 人 高校 2 人 ・スクールソーシャルワーカーによる訪問 小中学校 1,962 回 高校 356 回
⑦ キャリア教育・職業教育の充実 【高校教育課】	教育指導費 (20,300) 17,915	<p>社会的に自立する力、多様な課題に主体的に対応する力、具体的なビジョンに基づくキャリアプランニング能力等を育成するため、体験学習を推進した。また、専門高校において、生徒の専門的知識・技能の向上を図るため、専門家による実践的学習等の高度な職業教育を推進した。</p> <p>これにより、高校生の人生観及び職業観・勤労観の育成や専門高校生の技術力向上に寄与した。</p> <p>【キャリア教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ推進のための地域連絡会議の開催 平成 27 年 5 月 ・小中高の一貫したライフプランを踏まえたキャリア教育の指導計画の作成・配付 37 校 ・実践型体験学習プログラムの実施 36 校 162 件 <p>【職業教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門高校生の技能向上を図るための企業技術者による実践的授業の実施 1,032 回 ・工業系高校 2・3 年生の技能検定等国家資格取得の延べ人数割合 76.4%

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑧ 青少年体験活動の充実 【社会教育課】	社会教育振興費 (4,946) 4,639	<p>次代を担う若者の資質・能力の向上及び地域活動のリーダーの育成を図るために、日常生活では経験できない交流や体験活動の充実を図るとともに、若者が地域の人々とともに地域課題に向けた学習に取り組み、地域の活性化に資する企画を提案し自ら実行する活動を支援した。</p> <p>これにより、自然体験活動を通して地域づくりに貢献できるリーダーの養成を図るとともに、若者が挑戦し、活躍できる場の創出と商店街の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年長期体験活動「やまなし少年海洋道中」の実施 中学生 50 人参加 ・若者による中心市街地商店街の活性化へのアイデアの募集 応募件数 166 件
9 しなやかな心の育成 【義務教育課】 【高校教育課】 【社会教育課】	教育指導費 (4,964) 3,426	<p>児童生徒の豊かな心を育成するとともに、自他を敬愛し、最後まで諦めない「しなやかな心」の育成を推進するため、道徳教育に関する研究や、通学時マナーアップ運動、家読（うちどく）運動を展開した。</p> <p>これにより、道徳の授業改善につながるとともに、家庭や地域と連携した道徳教育の一層の充実や、豊かな自己形成ができる能力や態度の育成、家庭での読書を通じた児童生徒の豊かな心の育成に寄与した。</p> <p>【道徳教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全公立小中学校の道徳担当者を対象とした研修の実施 4 回 ・道徳研究開発校の設置 8 校 ・地域や保護者への道徳の授業公開の実施 249 校 <p>【しなやかな心の育成プロジェクトの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学時マナーアップ運動の実施 全公立高校 各 5 回 ・「しなやかな心の育成」講演会の開催 5 校 ・高校道徳教材「自分との出会い」を活用した授業の実施 20 校 <p>【家読（うちどく）運動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちどくポップ展の開催 応募総数 711 点 ・「家読 100 選」パンフレットの配布 41,100 部

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
⑩ グローバル人材の育成 【高校教育課】 【私学・科学振興課】	教育指導費 (25,911) 12,990	<p>国際的に活躍できるグローバル人材を育成するため、語学力、幅広い教養、問題解決力等の国際的素養を高校生に身に付けさせるとともに、留学支援を進めた。また、県立大学と海外の大学との国際交流協定の拡大などにより、学生の海外留学や外国人留学生の受け入れなどを推進した。</p> <p>これにより、多様な文化や価値観に触れる機会の拡大が図られ、グローバルな視野をもった人材の育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生の海外留学への支援 <ul style="list-style-type: none"> 長期留学 2人 (フランス、インドネシア) 短期留学 20人 (アメリカ) ・ スーパーグローバルハイスクールの指定 1校 ・ アイオワ大学 (アメリカ) 等との協定締結 5件
⑪ 英語教育の強化 【義務教育課】 【高校教育課】	教育指導費 (6,500) 3,971	<p>小学校における英語教育のあり方や、中学校・高等学校への円滑な移行のための方策等、英語教育のための実証的な研究を推進するとともに、高等学校の英語担当教員の指導力向上を図った。また、郷土学習教材に英語でふるさとを紹介するページ等を設けるための検討を行った。</p> <p>これにより、各校種の連携を意識した授業改善が進むとともに、外国語を通じた言語や文化に対する理解の向上や、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童生徒の育成に寄与した。</p> <p>【英語教育強化地域拠点事業の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語教育強化地域拠点校での研究・実践 24校 ・ 英語フォーラム等の開催による授業成果の普及 2回 <p>【英語教員の指導力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校英語担当教員を対象とした研修会の開催 7回 ・ 高等学校における指導方法改善のための指導事例集の作成・配付 37校 <p>【郷土学習教材の作成・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土学習教材検討委員会の開催 3回

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
12 食育の推進に向けた栄養教諭による指導の充実 【スポーツ健康課】	学校保健費 (132) 102	<p>学校における食育を推進するため、栄養教諭の配置拡大や研修会等の実施により、食に関する指導の充実を図った。</p> <p>これにより、食育指導を一層きめ細かなものとし、児童生徒の食に対する理解が深められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭を対象とした研修会等の開催 10回 ・栄養教諭の配置拡大 32人(累計)
⑬ 障害のある児童生徒の自立と社会参加の推進 【新しい学校づくり推進室】	———	<p>障害による学習及び生活上の困難を克服し、自立して社会参加する力を養うため、特別支援学校に理学療法士、作業療法士など自立活動に関する外部専門家や企業開拓等の専門職員を配置した。</p> <p>これにより、教員に対して適切なアドバイスが行われるなど、障害のある児童生徒に対する指導の充実が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校4校及び総合教育センターへの専門家配置 <ul style="list-style-type: none"> 理学療法士 2人 作業療法士 2人 言語聴覚士 4人 心理士 7人 企業開拓のための専門職員 1人
14 特別支援学校における教育環境の整備の推進 【新しい学校づくり推進室】	甲府支援学校等費 (751,727) 459,826 [260,267]	<p>特別支援学校における安全で快適な学びの場を提供するため、学校施設の改築や改修を計画的に進めた。</p> <p>これにより、教育環境が向上し、児童生徒の日々の学校生活の充実に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等支援学校桃花台学園屋内運動場の整備 平成27年8月供用開始 ・わかば支援学校小学部棟、管理棟、体育館の改築 平成27年10月～平成28年9月
⑮ 障害者職業能力検定の実施 【産業人材育成課】	雇用対策費 (1,502) 766	<p>障害者の企業への円滑な就労を促進するため、客観的な評価基準を定め、技能レベルを認定する障害者職業能力検定を実施した。</p> <p>これにより、障害者の職業に関する技能・技術の習熟や職業意識の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎検定の実施 平成27年12月 92人受検 31人認定 ・専門職種検定部会の開催 3回

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
16 私学教育の振興 【私学・科学振興課】	私学振興費 (3,648,609) 3,646,577	<p>特色ある教育を行う私立学校の教育条件の維持向上や生徒等の経済的負担の軽減を図るため、私立学校運営費補助金を交付するなど、私立学校を支援した。</p> <p>これにより、私立学校の安定的な運営と私学教育の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立学校運営費補助による支援 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園等 59 園 小学校 4 校 中学校 5 校 高等学校 11 校 ・私立幼稚園等への障害児就園に対する支援 18 園
⑰ 高等学校等の就学支援 【高校教育課】 【私学・科学振興課】 【新しい学校づくり推進室】	諸 費 (1,520,426) 1,450,881 私学振興費 (1,189,055) 1,187,371	<p>高等学校や特別支援学校に通う場合の保護者等の経済的負担を軽減し、生徒が安心して就学できるようにするため、就学に要する経費等に対して支援した。</p> <p>これにより、高等学校等への進学を望む生徒の就学機会の確保に寄与した。</p> <p>【公立高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学支援金（学び直しを含む）による支援 10,870 人 ・山梨県高等学校等奨学給付金による支援 1,396 人 ・低所得世帯への県立高等学校の入学料の減免 262 人 <p>【私立学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立高等学校等就学支援金による支援 7,325 人 ・私立高等学校授業料減免事業費補助金による支援 448 人 ・私立高等学校等学び直し支援金による支援 3 人 ・私立学校等奨学給付金による支援 455 人 <p>【特別支援学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育就学奨励費による支援 891 人

「ダイナミックやまなし総合計画」 政策別実施状況

プロジェクト	4	まなび・子育て環境創造プロジェクト
--------	---	-------------------

政策	3	スポーツ・文化の振興と魅力の発信	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	11	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>心身ともに健康で豊かな県民生活と、活力と潤いのある地域社会を実現していくためには、県内におけるスポーツ・文化の振興を図るとともに、スポーツ・文化を活用した多様な交流を創出していく必要があります。</p> <p>このため、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、県民がスポーツや芸術文化に親しみ、実践する環境づくりに取り組みます。また、スポーツや芸術文化に関する本県の情報等を県内外に積極的に発信し、交流人口の拡大を図ります。</p>					
平成27年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 子どもの体力向上への取り組みの推進		P.80	教育委員会	
	○ 東京オリンピック・パラリンピック等の事前合宿の誘致		P.81	総合政策部・教育委員会	
	○ 県有スポーツ施設の整備の推進		P.82	総合政策部・教育委員会	
	○ 新たなスポーツ観光の創出		P.82	観光部	
	○ 山梨サイクルネット構想の推進		P.82	県土整備部	
	○ 県民の文化芸術活動への参加促進		P.82	県民生活部	
	○ 県立文化施設の特色を生かした企画展・特別展の開催や教育普及事業の実施		P.83	教育委員会	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		294 百万円		
	前年度までの事業費		－ 百万円		
	本年度の事業費		294 百万円		
成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	成年のスポーツ実施率	77.6% (H26)	80.9% (H31)	79.9% (H27)	69.7
	週3日以上授業以外で運動・スポーツを実施している児童の割合	男子 57.8% 女子 33.0% (H26)	男子 65.0% 女子 40.0% (H31)	男子 57.2% 女子 34.4% (H27)	男子△8.3 女子 20.0
	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における児童の体力合計点	53.5 点 (H26)	55.0 点 (H31)	53.4 点 (H27)	△ 6.7
	県立文化施設4館の教育普及事業参加人員	79,244 人 (H26)	82,000 人 (H31)	75,011 人 (H27)	△ 153.6

※下線の成果指標は「山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも記載

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 東京オリンピック・パラリンピック等に向けた選手育成 【スポーツ健康課】	体育振興費 (32,727) 32,662	<p>本県アスリートがオリンピック・パラリンピック等の舞台で活躍するとともに、ジュニア期から一貫した指導を行い全国トップレベルの選手の育成を図るため、各競技団体の選手強化事業、県教育委員会が指定した高校運動部の行う活動に対して支援した。</p> <p>これにより、選手の練習機会の充実が図られ、将来の活躍が期待される若手選手の育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアアスリート・トータルサポート事業への支援 41 競技 ・高校運動部強化指定事業への支援 37 校 104 部
2 身近な地域スポーツの促進 【スポーツ健康課】	体育振興費 (1,796) 1,570	<p>県民の健康増進とスポーツの振興による地域活性化を図るため、身近な地域でスポーツに参加できる機会を創出し、スポーツ未実施率の縮減につなげる取り組みを促進した。</p> <p>これにより、各地域において、スポーツへの参加が促進され、スポーツを行う人の増加に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県地域スポーツ推進協議会の開催 3 回 ・オリンピック等を活用した講演会の開催 平成 27 年 8 月
③ 子どもの体力向上への取り組みの推進 【スポーツ健康課】	体育振興費 (1,785) 1,469	<p>子どもの体力向上を図るため、子どもたちへの運動機会の提供により運動習慣の定着を目指して、学校、家庭、地域が連携した取り組みを推進した。</p> <p>これにより、推進校を中心に子どもの運動機会が増加し、体力向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントや研修会等による健康・体力づくりの実践 5 回 ・学校における体力向上の取り組みへの支援 15 校

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 スポーツによる国際交流の推進 【スポーツ健康課】	体育振興費 (8,119) 7,083	<p>国際交流や国際親善を深め、本県スポーツの振興を図るため、中国四川省や韓国忠清北道とのスポーツ交流事業を推進するとともに、山梨県体育協会が実施する海外とのスポーツ交流事業に対して支援した。</p> <p>これにより、中国四川省、韓国忠清北道などとのスポーツによる国際交流の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国四川省とのスポーツ交流の実施 受入 15 人 ・韓国忠清北道とのスポーツ交流の実施 受入 21 人 ・海外とのスポーツ交流を実施する山梨県体育協会への支援 受入 10 人 派遣 1 人
⑤ 東京オリンピック・パラリンピック等の事前合宿の誘致 【国際総合戦略室】 【スポーツ健康課】	体育振興費 (12,483) 5,147 [7,122]	<p>東京オリンピック・パラリンピック等の事前合宿の誘致を図るため、市町村や競技団体等と連携を図り、県内競技施設の情報提供や関係者への働きかけ等を行った。</p> <p>これにより、大会組織委員会のキャンプ地誘致 PR に参画する準備を整えるなど、誘致活動の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県ホームページを活用した誘致活動の実施 候補施設等の PR 用コンテンツの作成 ・事前合宿誘致のための関係団体による事前合宿等誘致連絡会議の開催 3 回 ・ラグビーワールドカップ 2019 に向けた視察 2015 イングランド大会への職員派遣
6 大規模スポーツ大会の開催・誘致 【スポーツ健康課】 【国体推進室】	体育振興費 (1,706) 870	<p>本県アスリートの競技力向上と地域活性化を図るため、国体の関東ブロック大会・冬季大会スケート競技会等の準備を行うとともに、全国規模等のスポーツ大会やイベントの誘致活動を行った。</p> <p>これにより、国体の関東ブロック大会等の円滑な開催に向けた体制整備が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 71 回国民体育大会関東ブロック大会山梨県実行委員会の開催 平成 28 年 2 月 ・第 73 回国体冬季大会スケート競技会の開催準備 山梨県準備委員会の設置 平成 27 年 5 月 ・第 67 回全国高等学校スケート競技選手権大会の開催準備

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 県有スポーツ施設の整備の推進 【スポーツ健康課】	体育振興費 (56,916) 51,798 公園費 (53,936) 0 [53,936]	<p>本県のスポーツ環境の充実を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿等の誘致をはじめとしてスポーツによる交流人口の増加を図るため、県有スポーツ施設の整備を推進した。</p> <p>これにより、多くの県民がスポーツに親しみ、楽しむために、有効に必要な施設の整備とともに、東京オリンピック・パラリンピック等の事前合宿誘致の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県有スポーツ施設整備の基本方針の策定 平成 28 年 2 月 ・小瀬スポーツ公園競技場 バックストレート、雨天走路の改修 平成 28 年 3 月供用開始 ・富士北麓公園競技場の改修に向けた実施設計の着手 平成 28 年 3 月～平成 29 年 3 月
⑧ 新たなスポーツ観光の創出 【観光資源課】	観光宣伝費 (10,000) 0 [10,000]	<p>新たなスポーツ観光の創出を図るため、富士の国やまなし観光ネットに構築したサイトにより、本県の豊かな自然を生かした総合的なスポーツツーリズムの情報と周辺観光情報を発信した。</p> <p>これにより、スポーツを目的とした本県への誘客に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士の国やまなしを全力で走るサイトによる情報発信
⑨ 山梨サイクルネット構想の推進 【道路整備課】	道路橋りょう総務費 (33,300) 26,037 [5,300]	<p>個性ある観光地の確立と来訪者増加による地域活性化を図るため、富士北麓地域において自転車による広域的な周遊を行うための利用環境の整備を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨サイクルネット構想（富士北麓地域）の策定 平成 28 年 3 月 ・案内誘導サイン、注意喚起サイン等の整備に係る調査・概略設計の実施
⑩ 県民の文化芸術活動への参加促進 【生涯学習文化課】	芸術文化振興費 (2,205) 2,205	<p>「山梨県文化芸術振興ビジョン」のメインテーマ「人を育み、文化を磨く」を具現化するため、県内小学校において文化芸術の体験・鑑賞・学習の機会を提供した。</p> <p>これにより、文化芸術の振興を担う人材の育成が図られ、県民の文化芸術活動への参加促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨芸術劇場の実施 7 回 参加者 2,408 人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
① 県立文化施設の特色を生かした企画展・特別展の開催や教育普及事業の実施 【学術文化財課】	美術館費 (81,602) 76,116 考古博物館費 (14,767) 13,807 文学館費 (14,155) 11,314 博物館費 (66,084) 63,780	国内外の芸術文化を紹介し、本県の誇る芸術・文化を情報発信するため、県立美術館、博物館、考古博物館、文学館の特色を生かした企画展、特別展を開催するとともに、関連する教育普及事業を実施した。 これにより、多くの県民に学習・鑑賞機会を提供するとともに、本県の誇る芸術・文化の情報発信に寄与した。 ・企画展・特別展の開催 4館 10回 観覧者数 184,855人 ・教育普及事業の実施 4館の受講者数 75,011人

